第2次案内

第65回日本PTA全国研究大会
第49回日本PTA東北ブロック研究大会
仙台大会

つながろうPTA! 子どもたちの輝く未来のために

～杜の都発！ みちのくの今を伝えたい 感謝の思いと確かな歩みとともに～

シンボルマーク

平成29年 分科会 8/25(金)

全体会 8/26(土)

全国 PTA 会員の皆様へ

東日本大震災から７回目の夏を迎える平成29年8月、全国から多くの支援を頂き震災からの復旧・復興に邁進してきたみちのくの今をご覧頂き、被災地の知見を全国のPTA仲間と共有する機会になることを願い、第65回日本PTA全国研究大会仙台大会を開催いたします。「つながろう PTA! 子どもたちの輝く未来のために　～杜の都発！みちのくの今を伝えたい 感謝の思いと確かな歩みとともに～」というスローガンのもと、東北ブロックの PTAが一丸となって皆様をお迎えする準備をしています。

私たち PTA は、社会教育及び家庭教育の充実、家庭･学校･地域の連携を目的とした社会教育関係団体で、子どもたちの健全育成、福祉の増進、教育環境の向上のため、各々が持てる能力と時間を出し合いながら新たな時代の要請に応え、子どもたちと共に成長する PTA を希求した活動をしています。

本大会は、全国から集う8,000人の仲間と情報交換し、学び合い、東北を知る絶好の機会となることでしょう。

折しも、今年は仙台藩祖伊達政宗公が生誕されてから450年という記念の年です。まちの礎を築いた政宗公の偉業を振り返りながら、今を生きる私たちが未来を生き抜く子どもたちに出来ること、しなければならないこと等を、全国から集まった仲間との語らいから様々な気付きを得て、家庭・学校・地域のより良い関係が築かれる事を期待しております。

全国各地から、一人でも多くの皆様のご参加をお願いいたします。

公益社団法人 日本 PTA 全国協議会　会　長　寺本　充

東北PTA連絡協議会　会　長
第65回日本PTA全国研究大会仙台大会　実行委員長　五十嵐 智浩

主　催　公益社団法人日本 PTA 全国協議会 / 東北 PTA 連絡協議会 / 仙台市 PTA 協議会

後　援（申請予定）

文部科学省　復興庁　全国都道府県教育委員会連合会　全国連合小学校長会　全日本中学校長会　全国公立学校教頭会　宮城県
宮城県議会　宮城県教育委員会　仙台市　仙台市議会　仙台市教育委員会　宮城県小学校長会　宮城県中学校長会　仙台市小学校長会
仙台市中学校長会　宮城県小中学校教頭会　仙台市小学校教頭会　仙台市中学校教頭会　一般社団法人全国高等学校ＰＴＡ連合会
宮城県高等学校ＰＴＡ連合会　全国国公立幼稚園・子ども園ＰＴＡ連絡協議会　全国私立幼稚園ＰＴＡ連合会　全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会
公益社団法人日本教育会　BP(いじめ防止支援) プロジェクト構成大学 (宮城教育大学・上越教育大学・鳴門教育大学・福岡教育大学)
独立行政法人国際協力機構 (JICA) 東北支部　河北新報社　朝日新聞仙台総局　毎日新聞仙台支局　読売新聞東北総局　NHK 仙台放送局
東北放送㈱　㈱仙台放送　㈱宮城テレビ放送　㈱東日本放送　㈱エフエム仙台

仙台大会開催概要

大会名

第６５回日本ＰＴＡ全国研究大会仙台大会
第４９回日本ＰＴＡ東北ブロック研究大会仙台大会

大会趣旨

近年の様々な社会情勢の変化は、子どもたちや子育て世代の家庭を取り巻く環境に、大きな影響をもたらしています。特に、いじめや不登校に係る対策、急速な情報化社会への対応、家庭や地域の教育力に関する問題などの課題が、次々と発生しています。次世代を担う子どもたちをより良い環境で育むため、様々な課題の本質や対策について真剣に議論すべき時が、今です。

また、東日本大震災以降、全国から寄せられた多くのご支援に対する心からの感謝とともに、その後の復興の歩みもお伝えしてまいります。

この仙台大会を、子どもたちの輝く未来のために、全国のＰＴＡ会員同士が学び合い、心をつなぎ、絆をより一層深める機会にしようではありませんか。

大会スローガン

つながろうPTA！　子どもたちの輝く未来のために

～杜の都発！ みちのくの今を伝えたい　感謝の思いと確かな歩みとともに～

メインテーマ

（１）家庭・学校・地域とともに歩むＰＴＡ活動
（２）子どもたちの健康で豊かな心を育むＰＴＡ活動
（３）災害への備えや被災地支援を考えるＰＴＡ活動
（４）自他を愛する心を育てるＰＴＡ活動

参加予定人数

全国の小中学校ＰＴＡ会員及び教育関係者　**約8,000名**

開催日・日程等

8月25日㈮ 分科会(市内10会場)

12:30	13:00	13:15	13:40	16:45	17:00
受付	アトラクション	開会	基調講演・実践発表・パネルディスカッション	閉会	

8月26日㈯ 全体会(カメイアリーナ 仙台市体育館)

8:00	8:40	9:10	9:40	10:55	12:15	12:30
受付		アトラクション	開会	記念講演	閉会	
受付	東北ブロック大会					

大会参加費

お一人　５，０００円

※参加費は、分科会と全体会の２日間を通しての金額です。
※参加費入金後、大会の一部または全部に不参加の場合でも参加費の返金はいたしません。
※参加費に昼食弁当代は含まれておりません。

分科会内容

分科会	領域	研究課題	基調講演者	会場/最寄駅 参加要請人数
第1分科会	組織運営	**多くの仲間と活動できる PTA活動を求めて** 全ては子どもたちのため みんなで一緒に活動しよう	**川島 高之** 氏 NPO法人 コチカラ・ニッポン代表	**仙台銀行ホールイズミティ21 大ホール** 地下鉄南北線 泉中央駅 1,100人
第2分科会	家庭教育	**子どもの個性を伸ばす 家庭環境を求めて** やる気を育む言葉のチカラ	**瀧　靖之** 氏 国立大学法人 東北大学 加齢医学研究所教授	**東京エレクトロンホール宮城** 地下鉄南北線 勾当台公園駅 1,100人
第3分科会	学校教育	**協働による学校教育活動の 在り方を求めて** 家庭と学校と地域をつなぐ 「子」ミュニケーション	**宮崎　稔** 氏 学校と地域の融合教育研究会会長	**日立システムズホール仙台 シアターホール** 地下鉄南北線 旭ヶ丘駅 550人
第4分科会	広報活動	**保護者や地域への 更なる発信力を求めて** PTA活動の魅力を伝えよう	**酒井 美紀** 氏 女優	**太白区文化センター 楽楽楽(らららホール** 地下鉄南北線 長町駅 650人
第5分科会	地域連携	**地域と共にあるPTA活動の 在り方を求めて** 震災の経験を活かして取り組む地域防災	**麻生川 敦** 氏 富谷市立東向陽台小学校校長	**仙台国際センター会議棟 大ホール** 地下鉄東西線 国際センター駅 800人
第6分科会	人権教育	**互いを認め、尊重し合える 心の教育を求めて** インターネットの普及によって 多様化するコミュニケーションの中で 思いやる心を育むには	**武田 さち子** 氏 教育評論家	**東北大学百周年記念会館 川内萩ホール** 地下鉄東西線 国際センター駅 1,000人
第7分科会	環境教育	**子どもたちが健やかに育つ 環境の在り方求めて** 行動することで繋がる子どもたちの未来	**見上 一幸** 氏 国立大学法人 宮城教育大学学長	**仙台国際センター展示棟 展示室** 地下鉄東西線 国際センター駅 800人
第8分科会	健康安全	**子どもたちの健康な心と 身体を育む食を求めて** 「こ食」と地域の食育	**北折　一** 氏 元　NHKプロデューサー	**トークネットホール仙台 (仙台市民会館)大ホール** 地下鉄南北線 勾当台公園駅 1,000人
特別 第1分科会	日本PTA 担当	**「いじめ」 何が起きているかを知る**	**森田 洋司** 氏 国立大学法人 鳴門教育大学特任教授	**仙台サンプラザホール** JR 仙石線 榴ヶ岡駅 1.500人
特別 第2分科会	文部科学省 協力	**支援される側から支援する側へ さらに一歩踏み出した子どもたち** 子どもたちの支援活動を支えるために PTAとしてできることを考えよう	**田端 健人** 氏 国立大学法人 宮城教育大学 学校教育講座教授	**仙台国際センター展示棟 展示室** 地下鉄東西線 国際センター駅 800人

第１分科会　組織運営

研究課題　多くの仲間と活動できるＰＴＡ活動を求めて
全ては子どもたちのため みんなで一緒に活動しよう

現状と課題

子どもたちのことを考えて、ＰＴＡ活動をしていますか。共働き世帯も増え、ＰＴＡ活動に対する保護者の考え方も様々になっています。仕事を持ちながらも積極的に参加する保護者もいる反面、非協力的で、出来れば関わりたくないという保護者も見受けられます。

そういった中、東日本大震災以降は特に、おやじの会など、精力的に地域活動へ参加をする保護者も見られます。

長く同じ活動を繰り返していると本来の目的を見失うこともあると思います。ここで目的を再確認し、様々な保護者が興味を持ち、意欲的に参加できる現状に合わせた組織運営を一緒に考えます。

さらに震災の時の経験から、被災時に於ける私たちの役割を考えます。

討議の視点

1）保護者も先生も参加しやすくなる組織作り
2）ＰＴＡが担う学校での役割と地域での役割
3）今までのＰＴＡ組織作りとこれからのＰＴＡ組織作り

提言者

●基調講演者
川島高之氏
NPO法人　コヂカラ・ニッポン代表

●実践発表者
齊藤望氏
元平川市連合PTA会長

●コーディネーター
阿部清人氏
元仙台市PTA協議会副会長

●パネリスト
川島高之氏
基調講演者

齊藤望氏
実践発表者

瀬戸幸子氏
仙台市立寺岡小学校校長

公益社団法人 日本PTA
全国協議会関係者

第２分科会　家庭教育

研究課題　子どもの個性を伸ばす家庭環境を求めて
やる気を育む言葉のチカラ

現状と課題

子どもたちが、健全な人間性や社会への適応性を身につけるうえで、大きな役割を担うのが家庭教育です。それは個々の家庭内に留まらず、ときに保護者同士や学校、地域社会が密に結びつき、連携することでより高い成果を挙げてきました。

しかし、雇用や就業のあり方、家族構成が様変わりする昨今、子育てに関わる家庭と学校、地域社会との関係性も大きく変化しています。

必然的に“家族”が家庭教育の中心に置かれるなか、私たち子育て世代は子どもたちといかに向き合うべきなのでしょうか。

ここでは時代背景を踏まえながら、やる気を育む親子の対話について考えたいと思います。

討議の視点

1）「家庭教育」の現状～現代の保護者と子、地域社会の関係性～
2）子育てに理想的な家庭内コミュニケーションとは
3）子どもの意欲を高める言葉のチカラ

提言者

●基調講演者
瀧靖之氏
国立大学法人 東北大学
加齢医学研究所教授

●実践発表者
新沼喜久子氏
富谷市教育委員会 教育相談員

●コーディネーター
森雅一郎氏
TBCアナウンス学院学院長

●パネリスト
新沼喜久子氏
実践発表者

高橋達男氏
元仙台市児童相談所所長

中保良子氏
宮城県家庭教育支援チーム協議委員

公益社団法人 日本PTA
全国協議会関係者

第3分科会　学校教育

研究課題　協働による学校教育活動の在り方を求めて
家庭と学校と地域をつなぐ「子」ミュニケーション

現状と課題

近年、家庭・学校・地域が一体となって地域総ぐるみで豊かな学びの環境の場をつくることを目指し、学校の教育活動に、地域の方々が様々な形で活動支援をしています。

しかし、それぞれの関係が希薄化する中、相互の連携を深めていくことが、今後の協働による学校教育活動を進めるうえで重要な課題となっています。

そこで家庭・学校・地域をより良い連携で結ぶためには、その三者の真ん中にいる「子ども」を介して、それぞれが「子」ミュニケーションを取ることが大事です。

そのために、家庭の一人であり、また学校にも携わり、そして地域の一員でもある私たちＰＴＡが、それぞれを「つなぐ」ためにどのようなことができるのか考えます。

討議の視点

1）家庭・学校・地域をより良い関係で結ぶための「子」ミュニケーションとは
2）家庭・学校・地域の一員としてそれぞれをつなぐＰＴＡの役割
3）地域と共に発信する学校教育との協働の在り方

提言者

●基調講演者
宮崎　稔 氏
学校と地域の融合教育研究会会長

●実践発表者
山川　由紀子 氏
西中田こみこみスクール
スーパーバイザー

●コーディネーター
野澤　令照 氏
国立大学法人 宮城教育大学特任教授

●パネリスト
山川　由紀子 氏
実践発表者

三浦　純 氏
村田町立村田小学校 PTA 顧問

遠藤　正明 氏
元山形県 PTA 連合会会長

公益社団法人 日本PTA
全国協議会関係者

第4分科会　広報活動

研究課題　保護者や地域への更なる発信力を求めて
PTA 活動の魅力を伝えよう

現状と課題

高度情報化社会といわれる現代においては、情報発信と共有は、組織間、個人間の関係を円滑にし、活動を活発化するうえで重要な役割を果たします。

PTAでは活動内容など、多くの人へ伝達する一つの手段として「広報紙」を発行しています。さらに、近年では広報のスピードアップを可能とするブログやメルマガなど広報手段が多岐にわたるとともに、選択がしやすい環境になりました。

しかし、現在もなお学校からのお便りや地域での回覧板など、昔ながらの広報スタイルが受け継がれているのは、誰でも平等に受け取ることができる広報だからではないでしょうか。

今後、私たちの思いを伝える手段としての広報のあり方を模索し、受け手の皆さんに思いの伝わる広報紙を考え、ここから発信していきましょう。

討議の視点

1）現代の広報手段の利点・不利な点
2）発信する側の課題と注意点
3）受け手側の心を引き寄せる工夫

提言者

●基調講演者
酒井　美紀 氏
女優

●実践発表者
鹿又　智彦 氏
前仙台市立富沢中学校 PTA 会長

●コーディネーター
庄子　修 氏
国立大学法人 宮城教育大学特任教授

●パネリスト
村瀬　達哉 氏
独立行政法人国際協力機構
(JICA) 東北支部支部長

大槻　俊順 氏
㈱河北新報社 防災・教育室主任

大賀　重樹 氏
青森市立東陽小学校教頭

公益社団法人 日本PTA
全国協議会関係者

第5分科会　地域連携

研究課題　地域と共にあるPTA活動の在り方を求めて
震災の経験を活かして取り組む地域防災

現状と課題

2011.3.11。私たちはあの日のことを忘れません。津波により多くの方が亡くなり、行方不明となり、家や思い出の品など、すべての物がのみこまれてしまいました。住み慣れた町や地域は跡形もなくなってしまい、壊滅的な被害となりました。

そんな中、一人一人が地域や誰かのためにと行動を起こし、お互いに助け合い、困難を乗り越えようとしました。子どもたちや我々保護者も地域の一人として、積極的にボランティア活動などに参加しました。

そんな私たちだからこそ発信できること。震災の経験から学び活かした防災・減災への取組み、地域防災訓練を通して地域と共に取り組んでいる「顔の見える関係づくり」などの実例や様子を紹介しながら、「地域と共にあるPTAの在り方」を一緒に考え、地域連携の大切さを知る機会にしましょう。

討議の視点

1）家庭・学校・地域協働による、防災・減災の取組と実践
2）震災からの教訓を活かした、「身を守り、生き抜く力をもつ子どもたち」の育成

提言者

●基調講演者
麻生川　敦 氏
富谷市立東向陽台小学校校長

●実践発表者
高山亜矢 氏
元仙台市立荒浜小学校父母教師会会長
亀崎英治 氏
仙台市立七郷小学校研究主任

●コーディネーター
佐藤　健 氏
国立大学法人 東北大学
災害科学国際研究所教授

●パネリスト
亀崎英治 氏
実践発表者
小岩孝子 氏
NPO法人　にこにこの家代表理事
細谷滋紀 氏
前仙台市若林区PTA連合会会長
及川由佳里 氏
仙台市危機管理室減災推進課 主査

第6分科会　人権教育

研究課題　互いを認め、尊重し合える心の教育を求めて
インターネットの普及によって多様化するコミュニケーションの中で、思いやる心を育むには

現状と課題

現代社会は時代の変化に伴いコミュニケーションの在り方が多様化しており、インターネットをはじめとした利便性の高いツールが増え、スマートフォンなどの普及により顔を合わせての会話の機会が減り、偏った対話手段をとる子どもたちが増えています。

また、核家族化などにより世代を越えた交流が途切れ、結果として、地域のコミュニティが希薄化しており、「相手がどう思うか」などを考えることなく、利己的な言動を取ってしまうことが懸念されます。

そこで自分の気持ちを伝え、相手を思いやり、お互いを尊重できる真のコミュニケーションの在り方を考え、自他を愛する心と子どもたちを取り巻くコミュニティを形成する必要性について共に考えましょう。

討議の視点

1）子どもを取り巻くコミュニティ（家庭、友達、先生、地域、インターネット）
2）地域との関わりを持つ為の、保護者の役割
3）思いやる心を育てる真のコミュニケーションの在り方とは

提言者

●基調講演者
武田　さち子 氏
教育評論家

●実践発表者
阿部榮司 氏
秋田県PTA連合会副会長

●コーディネーター
安藤直美 氏
仙台市立愛子・錦ケ丘小学校
支援地域本部スーパーバイザー

●パネリスト
阿部榮司 氏
実践発表者
稲垣　忠 氏
東北学院大学教授
杉浦永子 氏
一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会
東北支部副支部長

第7分科会　環境教育

研究課題　子どもたちが健やかに育つ環境の在り方求めて
行動することで繋がる子どもたちの未来

現状と課題

私たちは、東日本大震災により多くのものを失いました。生まれ育った土地、家、仲間、通いなれた学校などを一瞬にして無くし、未だ元の生活を取り戻せない方々も多くいるのが現状です。

長年にわたり多くの子どもたちを育み続け、今も昔も人々から愛され続けてきた自然、文化、伝統や、受け継がれてきた地域の思いの大切さを再認識すべきと考えます。

そこで、私たちＰＴＡはふるさとの良さ、子どもたちが健やかに育つ環境を未来に伝えていくことが出来るように、共に学び、家庭・学校・地域の懸け橋として行動する事が必要だと考えます。

この大切な自然や文化、伝統、人と人との繋がりを、どのように子どもたちに伝え持続可能な活動にしていけば良いのでしょうか。子どもたちの未来のために、私たちがどのように行動していくべきか、共に考えましょう。

討議の視点

1）自然・生活環境が、子どもたちの成長に与える影響
2）地域に根付く伝統・文化と、PTA の関わり
3）ふるさとで生まれた環境素材を活かし未来に繋げる取組

提言者

●基調講演者
見上一幸氏
国立大学法人 宮城教育大学学長

●実践発表者
立花貴氏
公益社団法人
MORIUMIUS 代表理事

●コーディネーター
姥浦道生氏
国立大学法人 東北大学
災害科学国際研究所准教授

●パネリスト
西道典氏
元福島県 PTA 連合会副会長

立花貴氏
実践発表者

五十嵐のぶ代氏
一般社団法人岩手県 PTA 連合会会長

外﨑浩司氏
青森県 PTA 連合会会長

第8分科会　健康安全

研究課題　子どもたちの健康な心と身体を育む食を求めて
「こ食」と地域の食育

現状と課題

家庭における子どもの「こ食」（孤食、個食、固食、小食、粉食、濃食、五食）が社会問題となっています。

食事は成長途上にある子どもたちにとって、人格形成においても非常に重要な働きをすると言われています。お腹を満たすだけでは不十分で、栄養のバランスを整え、様々な食体験をさせ、食事に関するマナー等を教えるといった「食育」を意識した食事が不可欠と考えます。

PTA としての立場から、「地産地消を主とした食材の活用」や「郷土料理を使ったバランスのとれた食事」等を子どもたちへ伝え、安全で豊かな食文化の継承を考えます。

・孤食（子ども一人だけで食べる食事）
・個食（家族と一緒でもそれぞれ別メニューの食事）
・固食（同じものばかりに固定した食事）
・小食（意識的に行っている少食）
・粉食（パンや麺、ピザなど粉が主原料の柔らかく早く呑み込める食事）
・濃食（スナック菓子など塩分糖分が過剰な濃い味付けの食事）
・五食（朝昼晩の３食以外に、間食や夜食がプラスされ1日5食）

討議の視点

1）家庭における「こ食」による子どもへの影響
2）家庭における「こ食」の現状、課題とその解決策
3）地産地消、郷土料理の大切さ

提言者

●基調講演者
北折一氏
元　NHK プロデューサー

●実践発表者
太田瑞世氏
一般社団法人 音楽のある暮らしを
<ドリームクラブ>代表理事

●コーディネーター
飯田利加氏
フリーアナウンサー

●パネリスト
太田瑞世氏
実践発表者

山口美香氏
㈱グリーンショップはらだ
野菜ソムリエ上級 Pro

嶺岸若夫氏
元仙台市 PTA 協議会副会長

公益社団法人 日本PTA
全国協議会関係者

特別第１分科会　日本 PTA 担当

研究課題 「いじめ」何が起きているかを知る

現状と課題

社会環境の変化や SNS 等の浸透によって現代のいじめは多種多様になっています。意識する、しないに関わらずいつの間にかいじめに発展してしまうケースも見られます。また「いじめる側」と「いじめられる側」が瞬時に入れ替わることがあり、大人から見えないところで起こっているのも特徴です。

世の中からいじめを減らしていくことは重要ですし、悲しい出来事を繰り返したくはありません。

まずは「何が起こっているのか」をきちんと知ることが重要です。ひたすらに芽を摘むためのもぐら叩きに徹するのではなく、いろいろな角度からの目で状況をよく知り、「何が原因で」「どんなことが発生しているか」を正確に知りたいものです。

『寸劇』による事例を交えつつ、「知るための目」を養うにはどのようにすればよいかを探り、それぞれの立場で「何ができるのか」を一緒に考えます。

討議の視点

1）何が起きている？　きちんと知れば解決への早道に
2）「知るための目」を養うことで状況が見えてくる
3）PTA 活動を通して、家庭・学校・地域で何ができるのか

提言者

●基調講演者
森田洋司 氏
国立大学法人 鳴門教育大学特任教授

●コーディネーター
久保順也 氏
国立大学法人 宮城教育大学
学校教育講座准教授

●パネリスト
阿形恒秀 氏
国立大学法人 鳴門教育大学
いじめ防止支援機構長・教授

猪木直樹 氏
全国国公立幼稚園・こども園
PTA 連絡協議会会長

滝澤雅彦 氏
公益社団法人日本教育会専務理事

佐藤美佳子 氏
仙台市 PTA 協議会顧問

田中一晃 氏
全国国立大学附属学校
PTA 連合会事務局長

渡部ギュウ 氏
俳優（寸劇）

特別第２分科会　文部科学省協力

研究課題 支援される側から支援する側へ　さらに一歩踏み出した子どもたち

子どもたちの支援活動を支えるために PTA としてできることを考えよう

現状と課題

東日本大震災で甚大な被害を受けた小中学校は、全国から多くの支援をいただきました。当時、まだまだ支援が必要な学校は残っていたものの、たくさんの支援を受けて概ね平穏な日常を取り戻しつつあった子どもたちは、周りにいる身近な人やまだ支援が必要な地域に対して自分たちにできることはないかと考えて、率先して支援活動を行っていきました。支援される側から支援する側となっていったのです。

子どもたちがどのような経緯で支援活動を行うようになったのか、大人や地域はどのように支え関わっていたのかを紹介していきます。

自然災害が続くなか、最近では、熊本地震や台風水害など他の地域で発生した災害への支援にも取り組んできています。子どもたちは、さらに一歩踏み出し始めています。

防災教育では、発達段階に応じて、災害に適切に対応する能力の基礎を培うことによって「生きる力を育む」という考え方もあるなか、子どもたちを中心に行う被災地支援の在り方や PTA や学校はどのようにサポートしていくべきか、地域とはどのように連携していくべきか考えましょう。

討議の視点

1）子どもたちが被災者支援を行うにあたっての課題やその解決方法
　～発達段階に応じた災害に適切に対応する能力を踏まえて～
2）継続的な活動をするために必要なことは何か
3）PTA や学校のサポートや地域連携についての課題

提言者

●基調講演者
田端健人 氏
国立大学法人 宮城教育大学
学校教育講座教授

●コーディネーター
吉谷正 氏
文部科学省生涯学習政策局社会教育課
PTA 等共済室 PTA 等共済指導係長

●パネリスト
菅原亮一 氏
仙台市立吉成小学校教諭

増田恵美子 氏
元宮城県 PTA 連合会副会長

小野寺篤 氏
仙台市立高砂中学校生徒指導主事

佐々木夏海 氏
石巻市ジュニアリーダーサークル
「げろっぱ」OG

全体会記念講演

時　間

8/26㈯　10:55～12:15

演　題

オリンピックへの挑戦
～家族の絆で掴んだ父娘メダル～

講　師

ウエイトリフティング選手
ロンドンオリンピック銀・リオデジャネイロオリンピック銅メダリスト

三宅　宏実氏　Hiromi Miyake

1985年生まれ。埼玉県出身。法政大学卒業。いちご（株）所属。
中学3年の時、シドニーオリンピックを観たことをきっかけに競技を始める。
2004年アテネオリンピックに初出場し9位。2008年北京オリンピック6位入賞。2012年ロンドンオリンピックで銀メダル獲得。
女子ウエイトリフティング史上初のメダリストと同時に、日本オリンピック史上初となる父娘メダル達成。
2016年リオデジャネイロオリンピックにて銅メダルを獲得し、2大会連続メダル達成。

日本ウエイトリフティング協会会長
メキシコシティオリンピック銅メダリスト

三宅　義行氏　Yoshiyuki Miyake

1945年生まれ。宮城県出身。いちご（株）所属。
1968年にメキシコシティ五輪重量挙げフェザー級で銅メダルを獲得し、兄義信とともに兄弟で表彰台に立つ。
現役引退後は指導者として数多くの重量挙げ選手を育成し、日本重量挙げ界の発展に貢献。
2016年リオデジャネイロ五輪では、ウエイトリフティング女子日本代表監督を務める。
2016年9月より日本ウエイトリフティング協会会長に就任。

会場のご案内

A 第１分科会

仙台銀行ホールイズミティ 21 大ホール

〒981-3133
仙台市泉区泉中央 2-18-1
TEL:022-375-3101
FAX:022-375-4229

B 第２分科会

東京エレクトロンホール宮城

〒980-0803
仙台市青葉区国分町 3-3-7
TEL:022-225-8641
FAX:022-223-8728

C 第３分科会

日立システムズホール仙台 シアターホール

〒981-0904
仙台市青葉区旭ヶ丘 3-27-5
TEL:022-276-2110
FAX:022-276-2108

D 第４分科会

太白区文化センター楽楽楽（ららら）ホール

〒982-0011
仙台市太白区長町5- 3- 2
TEL:022-304-2211
FAX:022-304-2746

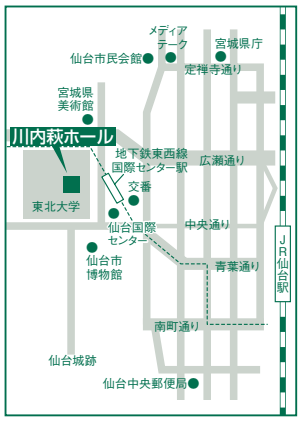
E 第5･7分科会 特別第2分科会（3分科会同会場）

仙台国際センター

〒980-0856
仙台市青葉区青葉山無番地
TEL:022-265-2211（代表）
FAX:022-265-2485

F 第６分科会

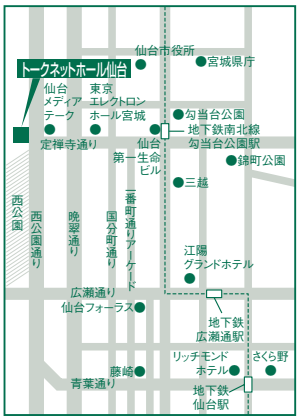
東北大学百周年記念会館川内萩ホール



〒980-8576
宮城県仙台市青葉区川内 40
TEL:022-795-3391
FAX:022-795-3390

G 第８分科会

トークネットホール仙台（仙台市民会館）大ホール



〒980-0823
仙台市青葉区桜ヶ岡公園 4-1
TEL:022-262-4721
FAX:022-215-3950

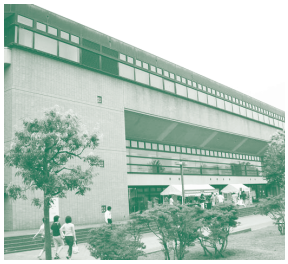
H 特別第１分科会

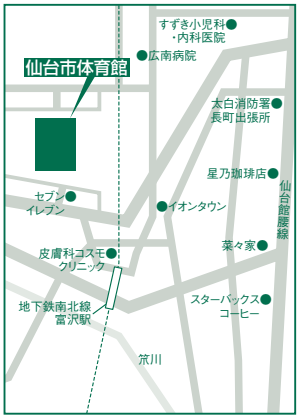
仙台サンプラザホール

〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡 5-11-1
TEL:022-257-3300
FAX:022-257-3331

I 全体会

カメイアリーナ仙台（仙台市体育館）





〒982-0032
仙台市太白区富沢一丁目４番１号
TEL:022-244-1111（代表）
FAX:022-244-1115

E 第５・７分科会 特別第２分科会会場の「仙台国際センター」、および全体会場の「カメイアリーナ仙台」において、東日本大震災被災３県（岩手県、宮城県、福島県）と仙台市の震災から復興までのパネル展示、津波遺留物等の展示をいたします。

仙台市営地下鉄 路線図

会場は全て最寄り駅から徒歩圏内です

※会場へは公共交通機関でおいでください。
駐車場の用意はありません。

分科会・全体会 会場へのアクセス

地図	分科会	領域	会場/最寄駅	アクセス
A	第1分科会	組織運営	**仙台銀行ホールイズミティ21 大ホール** 地下鉄南北線 泉中央駅	仙台市営地下鉄南北線 泉中央方面行き「泉中央駅」下車（仙台駅から15分） 北改札口を出て地下道を「北3」出口に向かって徒歩5分
B	第2分科会	家庭教育	**東京エレクトロンホール宮城** 地下鉄南北線 勾当台公園駅	仙台市営地下鉄南北線 泉中央方面行き「勾当台公園駅」下車（仙台駅から3分） 「公園2」出口から徒歩300メートル（所要時間約10分）
C	第3分科会	学校教育	**日立システムズホール仙台 シアターホール** 地下鉄南北線 旭ヶ丘駅	仙台駅から市営地下鉄南北線・泉中央方面行き 「旭ヶ丘駅」下車（仙台駅から10分） 「東1番」出口より徒歩3分
D	第4分科会	広報活動	**太白区文化センター 楽楽楽（ららら）ホール** 地下鉄南北線 長町駅	仙台市営地下鉄南北線 富沢行き「長町駅」で下車（仙台駅から8分） 「南1番」出口から直接建物の地下1階へ入れます 【JR】ＪＲ仙台駅から東北本線または常磐線上り方面行きで5分 長町駅で下車 徒歩3分
E	第5分科会	地域連携	**仙台国際センター会議棟大ホール** 地下鉄東西線 国際センター駅	仙台市営地下鉄東西線 八木山動物公園方面行き「国際センター駅」下車 徒歩1分
F	第6分科会	人権教育	**東北大学百周年記念会館川内萩ホール** 地下鉄東西線 国際センター駅	仙台市営地下鉄東西線 八木山動物公園方面行き「国際センター駅」下車 「西1」出口から徒歩約5分（扇坂階段経由） 「川内駅」下車　「南2出口」から徒歩約7分（川内北キャンパス内経由）
E	第7分科会	環境教育	**仙台国際センター展示棟展示室** 地下鉄東西線 国際センター駅	仙台市営地下鉄東西線 八木山動物公園方面行き「国際センター駅」下車 徒歩1分
G	第8分科会	健康安全	**トークネットホール仙台（仙台市民会館）大ホール** 地下鉄南北線 勾当台公園駅	仙台市営地下鉄南北線 泉中央方面行き「勾当台公園駅」下車（仙台駅から3分） 「公園2」出口から、徒歩約15分 仙台市営地下鉄東西線 八木山動物公園方面行き「大町西公園駅」下車「西1」出口から徒歩約15分
H	特別第1分科会	日本PTA担当	**仙台サンプラザホール** JR 仙石線 榴ヶ岡駅	JR仙石線仙台駅～（約3分）～榴ヶ岡駅下車出入口2すぐ （JR仙台駅仙石線のりば9・10番線 松島海岸・石巻方面行［各駅停車］） JR仙台駅東口から徒歩13分 地下鉄東西線荒井方面行「宮城野通駅」下車（仙台駅から2分）徒歩12分
E	特別第2分科会	文部科学省協力	**仙台国際センター展示棟展示室** 地下鉄東西線 国際センター駅	仙台市営地下鉄東西線 八木山動物公園方面行き 「国際センター駅」下車（仙台駅から5分）徒歩1分
I	全体会	つながろうＰＴＡ！子どもたちの輝く未来のために	**カメイアリーナ仙台（仙台市体育館）** 地下鉄南北線 富沢駅	仙台市営地下鉄南北線富沢行き 「富沢駅」で下車（仙台駅から12分）徒歩5分

※会場へは公共交通機関でおいでください。駐車場の用意はありません。

大会参加費・宿泊プラン等のご案内

以下、13～20ページ（「大会参加費について」、「宿泊プランについて」、「オプショナルツアーについて」、「変更・取消について」、「個人情報の取扱いについて」、「申込方法について」）については、旅行を企画・実施するJTB東北法人営業仙台支店からの案内ページとなります。

1. 大会参加費について（募集型企画旅行契約には該当しません）

■大会参加費　　お一人　5,000円

※参加費は、分科会と全体会の2日間を通しての金額です。
※参加費入金後、大会の一部または全部に不参加の場合でも参加費の返金はいたしません。
※参加費に昼食弁当代は含まれておりません。

2. 宿泊プランについて（㈱JTB東北との募集型企画旅行契約となります。）

- 宿泊設定日　2017年8月24日（木）、25日（金）、26日（土）　※最大で3泊分
- 宿泊条件　1泊朝食付（税金・サービス料込）　お一人様1泊あたりの金額となります。
  施設によっては朝食無料サービス<軽食>となります。
  また、一部のホテルは食事会場の関係で、時間指定をさせていただく場合がございますので予めご了承願います。
- 添乗員　同行いたしません。各自チェックインとなります。後日お送りする宿泊予約確認書を当日 フロントにてご提示ください。
- 最少催行人員　1名様

●スムーズな配宿・回答がおこなえるよう料金区分・お部屋タイプ別で申込をお受けいたします（ホテルの指定はできません）。宿泊予約確認書の発送をもって施設名をご案内致します。
●宿泊地区や料金区分、お部屋タイプ等、お申込状況や時期によってはご希望に添えない場合がございます。
また、状況により分宿となる場合もございますのであらかじめご了承ください。
●各施設の最寄駅、路線、交通機関については15ページの地下鉄・各JR路線図でご確認ください。
●お車でお越しの場合、各ホテルとも駐車料金が掛かりますので、あらかじめご了承ください（駐車場がないホテルもございますので、ご了承ください。）

仙台駅（地下鉄・JR）徒歩圏内の宿泊施設

交通機関	路線	最寄駅	区分	部屋タイプ	ご旅行代金（1人あたり） 8月24日(木) 朝食付	8月25日(金) 朝食付	8月26日(土) 朝食付	申込記号	施設名	仙台駅からの所要時間
仙台市地下鉄	東西線・南北線	仙台駅	A	シングル	8,000円	8,000円	8,000円	S-1	ロイヤルメイフラワー仙台 ユニゾイン仙台 ホテルグリーンウェル ホテルグリーンパレス	徒歩10分 徒歩3分 徒歩3分 車5分
				ツイン（1名1室利用）	9,000円	9,000円	9,000円	S-2		
				ツイン（2名1室利用）	6,200円	6,200円	7,200円	S-3		
			B	シングル	8,500円	8,500円	10,500円	S-4	ホテルメルパルク仙台 ホテルグリーンパシフィック ホテルグリーンマーク ホテルプレミアムグリーンプラス アパヴィラホテル仙台五橋	徒歩10分 徒歩4分 徒歩5分 徒歩4分 徒歩8分
				ツイン（1名1室利用）	9,500円	9,500円	11,500円	S-5		
				ツイン（2名1室利用）	6,500円	6,500円	6,500円	S-6		
			C	シングル（ダブル1名1室利用含）	9,500円	9,500円	11,000円	S-7	ホテルユニサイト仙台 ホテル法華クラブ仙台 仙台ガーデンパレス 第一インパーク コンフォートホテル仙台東口	徒歩3分 徒歩10分 徒歩5分 徒歩8分 徒歩5分
				ツイン（1名1室利用）	15,500円	15,500円	23,000円	S-8		
				ツイン（2名1室利用）	8,800円	8,800円	10,500円	S-9		
			D	シングル	10,700円	13,700円	20,200円	S-10	リッチモンドホテル仙台	徒歩8分
			E	シングル	11,900円	11,900円	12,700円	S-11	ホテルビスタ仙台 ホテルJALシティ仙台 ホテルモンテエルマーナ仙台 ホテルフォーリッジ仙台	徒歩4分 徒歩5分 徒歩3分 徒歩4分
				ツイン（1名1室利用）	14,700円	14,700円	15,700円	S-12		
				ツイン（2名1室利用）	10,200円	10,200円	11,700円	S-13		
			F	シングル	12,300円	12,300円	-	S-14	仙台国際ホテル	徒歩5分
				ツイン（1名1室利用）	14,800円	14,800円	-	S-15		
				ツイン（2名1室利用）	9,400円	9,400円	-	S-16		
			G	シングル	12,300円	12,300円	12,300円	S-17	仙台ワシントンホテル	徒歩3分
				ダブル（1名1室利用）	14,600円	14,600円	14,600円	S-18		
				ツイン（1名1室利用）	18,400円	18,400円	18,400円	S-19		
				ツイン（2名1室利用）	10,300円	10,300円	10,300円	S-20		
			H	シングル	13,000円	13,000円	13,000円	S-21	ホテルモントレ仙台 ホテルクラウンヒルズ仙台青葉通り	徒歩3分 徒歩7分
				ツイン（1名1室利用）	16,800円	16,800円	16,800円	S-22		
				デラックスツイン（1名1室利用）	19,500円	19,500円	19,500円	S-23		
				ツイン（2名1室利用）	11,500円	11,500円	11,500円	S-24		
			I	シングル	15,200円	15,200円	15,200円	S-25	ホテルメトロポリタン仙台	徒歩1分
				ツイン（1名1室利用）	21,600円	21,600円	21,600円	S-26		
				デラックスツイン（1名1室利用）	23,800円	23,800円	23,800円	S-27		

仙台市地下鉄（東西線・南北線）沿線の宿泊施設

交通機関	路線	最寄駅	区分	部屋タイプ	ご旅行代金（1人あたり） 8月24日(木) 朝食付	8月25日(金) 朝食付	8月26日(土) 朝食付	申込記号	施設名	最寄駅からの所要時間
仙台市地下鉄	東西線	宮城野通駅	A	シングル	10,300円	10,300円	10,300円	C-1	ANAホリデイ・イン仙台	宮城野通駅から徒歩3分
				ツイン（1名1室利用）	13,500円	13,500円	13,500円	C-2		
				ツイン（2名1室利用）	8,600円	8,600円	8,600円	C-3		
				ダブル（1名1室利用）	13,500円	13,500円	13,500円	C-4		
			B	シングル	12,500円	12,500円	12,500円	C-5	ホテルレオパレス仙台	宮城野通駅から徒歩1分
				ツイン（2名1室利用）	11,000円	11,000円	11,000円	C-6		
		大町西公園駅	C	シングル	8,000円	8,000円	9,100円	C-7	アークホテル仙台青葉通り ホテルグリーンアーバ	大町西公園駅から徒歩2分 徒歩5分
		青葉通一番町駅	D	シングル	7,500円	7,500円	7,500円	C-8	ホテルパールシティ仙台	青葉通一番町駅から徒歩5分
				ツイン（1名1室利用）	11,000円	11,000円	11,000円	C-9		
				ツイン（2名1室利用）	6,500円	6,500円	6,500円	C-10		
				ダブル（1名1室利用）	10,200円	10,200円	10,200円	C-11		
	南北線	広瀬通駅	E	シングル	8,300円	8,300円	8,300円	C-12	ホテルグリーンセレク	広瀬通駅から徒歩2分
			F	シングル	9,500円	9,500円	9,500円	C-13	ホテルプレミアムグリーンヒルズ 江陽グランドホテル スマイルホテル仙台国分町	広瀬通駅から徒歩2分 徒歩1分 徒歩2分
				ツイン（1名1室利用）	15,000円	15,000円	15,000円	C-14		
				ツイン（2名1室利用）	9,500円	9,500円	9,500円	C-15		
				ダブル（1名1室利用）	11,500円	11,500円	11,500円	C-16		
			G	シングル	17,000円	17,000円	17,000円	C-17	青葉の湯ドーミーイン仙台ANNEX	広瀬通駅から徒歩2分
			H	シングル	20,600円	20,600円	20,600円	C-18	三井ガーデンホテル	広瀬通駅から徒歩1分
				ダブル（1名1室利用）	22,700円	22,700円	22,700円	C-19		
		勾当台公園駅	I	シングル	8,000円	8,000円	8,000円	C-20	仙台ビジネスホテル ホテルグリーンパーク	勾当台公園駅から徒歩3分 徒歩5分
		北四番丁駅	J	シングル	8,000円	8,000円	8,000円	C-21	ホテルグリーンシティ	北四番丁駅から徒歩8分
		泉中央駅	K	シングル（ダブル1名1室利用含む）	8,500円	8,500円	8,500円	C-22	ホテルルートイン仙台泉インター	泉中央駅から車8分
				ツイン（1名1室利用）	10,700円	10,700円	10,700円	C-23		
			L	シングル	9,700円	9,700円	10,800円	C-24	仙台ジョイテルホテル	泉中央駅から車10分
				ダブル（1名1室利用）	11,300円	11,300円	12,300円	C-25		
				ツイン（1名1室利用）	11,900円	11,900円	13,000円	C-26		
				ツイン（2名1室利用）	8,600円	8,600円	9,700円	C-27		
		長町駅	M	シングル	7,800円	7,800円	7,800円	C-28	ホテルルートイン仙台長町インター	長町駅から車8分
				ツイン（1名1室利用）	9,100円	9,100円	9,100円	C-29		
				ツイン（2名1室利用）	6,700円	6,700円	6,700円	C-30		

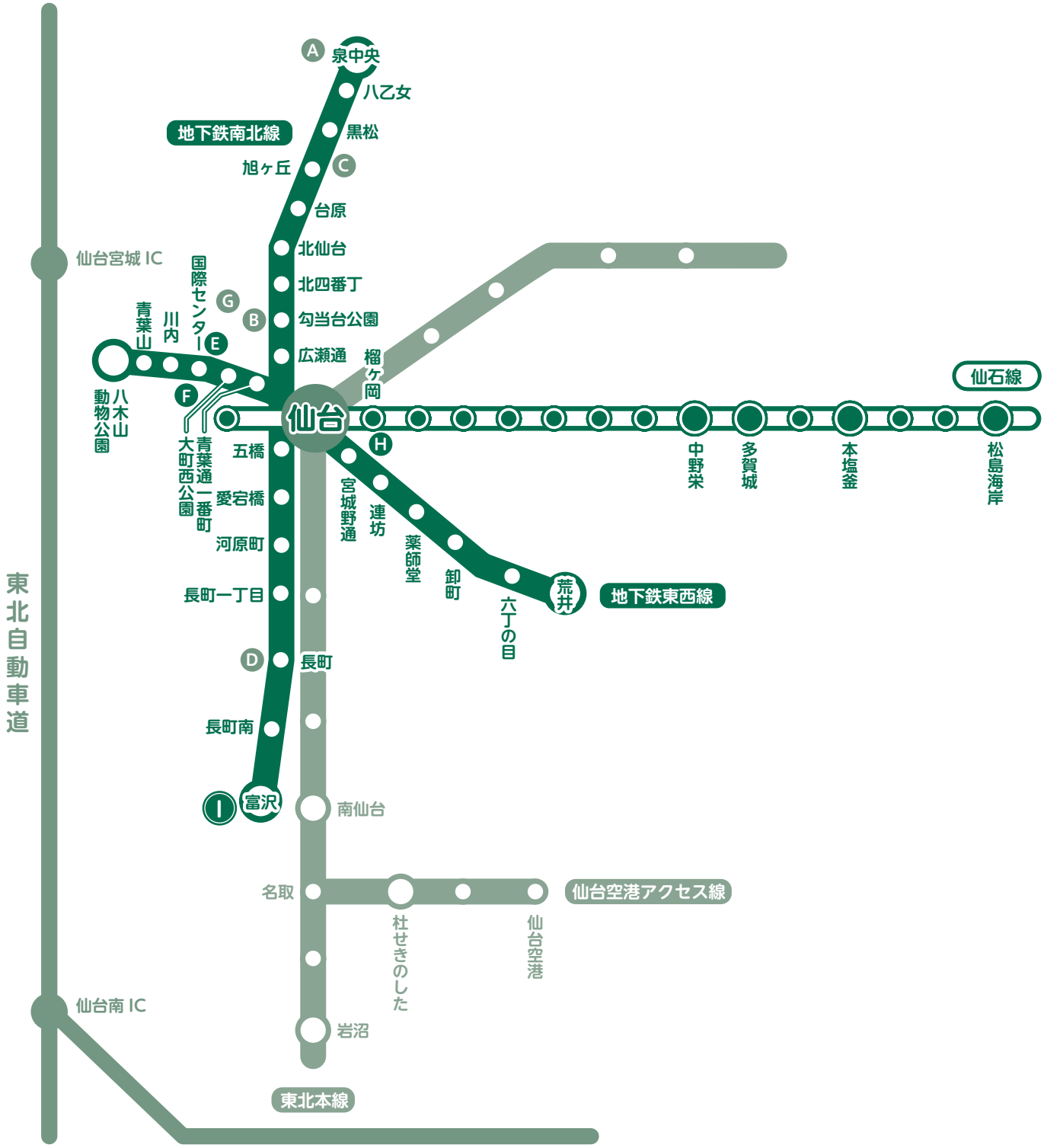
JR 沿線・その他の宿泊施設

交通機関	路線	最寄駅	区分	部屋タイプ	8月24日(木) 朝食付	8月25日(金) 朝食付	8月26日(土) 朝食付	申込記号	施設名	最寄駅からの所要時間
JR	空港アクセス線	杜せきのした駅	A	シングル	7,900円	7,900円	9,100円	J-1	ホテルルートイン名取	杜せきのした駅から徒歩6分
				セミダブル（1名1室利用）	11,000円	11,000円	14,800円	J-2		
	東北本線	南仙台駅	B	シングル	6,600円	6,600円	6,600円	J-3	バリュー・ザ・ホテル仙台名取	南仙台駅から車5分
		岩沼駅	C	シングル	8,000円	8,000円	8,000円	J-4	ホテルルートイン名取岩沼インター	岩沼駅から車6分
	仙石線	中野栄駅	D	シングル（ダブル1名1室利用含む）	7,400円	7,400円	8,400円	J-5	ホテルルートイン仙台多賀城	中野栄駅から徒歩15分
				ツイン（1名1室利用）	9,700円	9,700円	10,700円	J-6		
				ツイン（2名1室利用）	6,500円	6,500円	7,500円	J-7		
			E	シングル	8,000円	8,000円	8,000円	J-8	プレミアイン仙台多賀城	中野栄駅から徒歩11分
				ツイン（1名1室利用）	11,000円	11,000円	11,000円	J-9		
				ツイン（2名1室利用）	6,100円	6,100円	6,100円	J-10		
		多賀城駅	F	シングル	8,400円	8,400円	8,400円	J-11	ホテルルートイン多賀城駅東	多賀城駅から徒歩7分
				ツイン（1名1室利用）	10,400円	10,400円	10,400円	J-12		
				ツイン（2名1室利用）	7,500円	7,500円	7,500円	J-13		
		本塩釜駅	G	シングル	7,300円	7,300円	7,300円	J-14	スマイルホテル塩釜	本塩釜駅から車5分
		松島海岸駅	H	シングル	13,600円	13,600円	15,600円	J-15	松島センチュリーホテル	松島海岸駅から徒歩10分
				ツイン（1名1室利用）	14,800円	14,800円	17,200円	J-16		
				ツイン（2名1室利用）	13,600円	13,600円	15,600円	J-17		
車	東北自動車道	仙台南IC	I	ツイン（2名1室利用）	7,700円	7,700円	9,900円	J-18	ホテルニュー水戸屋	仙台南ICから車15分
			J	ツイン（1名1室利用）	14,200円	14,200円	18,000円	J-19	秋保リゾートホテルクレセント	仙台南ICから車15分
				ツイン（2名1室利用）	8,800円	8,800円	10,900円	J-20		

●上記各プラン日程表

目次	行程	食事
1	ご自宅または前泊地または各地⇒（各自移動、お客様負担）⇒各宿泊施設（泊）	朝：× 昼：× 夕：×
2	各宿泊施設⇒（各自移動、お客様負担）⇒ご自宅または次泊地または各地	朝：○ 昼：× 夕：×

地下鉄・各JR路線図



会場へは公共交通機関でおいでください。
駐車場の用意はありません。

3. オプショナルツアーについて（㈱JTB東北との募集型企画旅行契約となります。）

JTB 東北 法人営業仙台支店が旅行企画･実施する募集型企画旅行にてご案内させていただきます。別紙の旅行条件書（要約）をご確認の上、お申込ください。

※記号の見方：◎入場、○下車、△車窓、＝＝＝貸切バス
※視察箇所は、都合により変更になる可能性もございます。最終のコースは最終案内にてご確認ください。

A 伊達政宗公生誕450年！！ 政宗が育んだ『伊達』な文化を訪ねる旅（８月27日㈰　終日）

コースポイント
2017年伊達政宗生誕450年を迎えます。この機会に政宗公の歴史的遺産を巡り、宮城の魅力をご堪能いただきます。

■募集人員：４０名　■最少催行人員：３０名　■旅行代金（お一人様あたり）@１２，５００円、
■食事：昼食１回　■旅行代金に含まれるもの：貸切バス代（ガイド付き）、入場代、有料道路代、昼食代、添乗員費用　■添乗員：同行します

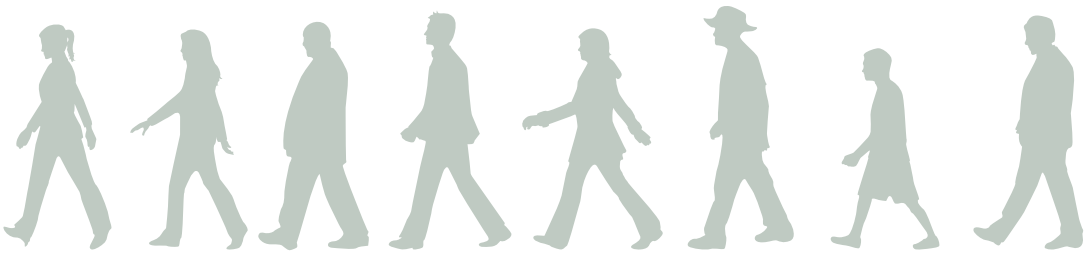
８月２７日（日）	仙台駅東口＝＝＝＝＝○仙台城跡 ＝＝＝＝＝◎瑞宝殿＝＝＝＝○瑞巌寺・・・・・・ 8:30　9:00　9:20　9:40　10:20　11:20 ・・・・・○松島海岸・・・・・・松島海岸＝＝＝＝＝○松島大観荘（昼食）＝＝＝＝ 12:00　松島遊覧　13:00　13:10　14:10 ＝＝＝＝◎伊達政宗歴史館・松島さかな市場・五大堂 ＝＝＝＝＝＝＝＝仙台駅東口 14:20　16:30　17:30

B 震災復興支援・防災学習プログラム 南三陸町から震災の教訓を学ぶ旅（８月27日㈰　終日）

コースポイント
他の被災地沿岸部の数多くの自治体が参考にする「南三陸モデル」と呼ばれる、語り部ガイドを通じた情報発信による次世代への震災の教訓の継承を体験します。

■募集人員：４０名　■最少催行人員：３０名　■旅行代金（お一人様あたり）@９，０００円、
■食事：昼食１回　■旅行代金に含まれるもの：貸切バス代（ガイド付き）、有料道路代、昼食代、添乗員費用　■添乗員：同行します

８月２７日（日）	関係者による説明 仙台駅東口　＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ ○大川小学校 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 8:00　10:00　10:30 語り部ガイドによる被災エリア視察・復興商店街視察 南三陸ホテル観洋にて復興昼食 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝ ○南三陸町（語り部による被災地案内・昼食）＝＝＝＝＝＝＝＝ 11:10　14:40 ＝＝＝＝＝＝＝　仙台駅東口 17:00



C　日本三景『松島』を訪ねる（８月26日㈯　半日）

コースポイント

日本三景の松島へご案内します。絶景スポットをまわり陸から望む景観とは異なる松島の魅力を体感いただきます。瑞巌寺、松島のシンボル「五大堂」へもご案内致します。

■募集人員：４０名　■最少催行人員：３０名　■旅行代金（お一人様あたり）@６，５００円、
■食事：昼食１回　■旅行代金に含まれるもの：貸切バス代（ガイド付き）、有料道路代、船代、昼食弁当代、添乗員費用　■添乗員：同行します

８月２６日（土）	仙台市体育館＝＝＝＝○瑞巌寺・五大堂・・・○松島海岸・・・・・・松島海岸・・・・ 13:00　13:50　14:50　15:00　松島遊覧　16:00 ・・・・・・松島魚市場＝＝＝＝＝＝仙台駅東口 16:10　17:00　18:00

D　語り部ボランティアガイドと歩く 津波被災地視察『名取市閖上・仙台市荒浜地区』（８月26日㈯　半日）

コースポイント

仙台市南の太平洋沿岸に位置する町を訪れます。震災の記憶を後世までに残す「地域活動のあり方」と「未来に向けて防災・減災を考える」プログラムです。

■募集人員：４０名　■最少催行人員：３０名　■旅行代金（お一人様あたり）@６，０００円、
■食事：昼食１回　■旅行代金に含まれるもの：貸切バス代（ガイド付き）、有料道路代、昼食弁当代、添乗員費用　■添乗員：同行します

８月２６日（土）	仙台市体育館＝＝＝＝＝＝○名取市（被災エリア：閖上地区の案内）＝＝＝＝＝＝＝ 13:00　13:30　閖上中学校慰霊碑・名取市慰霊碑　15:00 ＝＝＝○仙台市（被災エリア：荒浜地区の案内）＝＝＝仙台駅東口 16:00　荒浜小学校・慰霊碑　17:30　18:00

E　福島のありのままの姿と復興に正面から向き合う「人」と出会う旅 ※募集予定

5月中に、仙台大会ホームページ（http://zenkoku-pta-sendai.wixsite.com/sendai）に掲載しますので、ご確認いただきお申込み下さい。

・お申込は申込受付順とし、満員になり次第、締切とさせていただきます。
・申込人員が最少催行人員に満たない時は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって３日目にあたる日より前に旅行中止のご通知をいたします。
・当日の集合場所・時間につきましては、後日お送りする最終日程表にてご確認ください。
・上記行程は交通状況により、所要時間・発着時刻が変更になる場合がございます。接続の列車等公共交通機関のご予約をされる場合は、あらかじめ時間に余裕のある手配をお願いいたします。遅延による交通機関の取消料等に関しては、当方では一切負担いたしませんのでご了承ください。

4．変更・取消について

①お申込後の取消及び変更の依頼は、必ずＥメールにて㈱ JTB ビジネスネットワーク JTB 東北 EC デスク「第 65 回日本 PTA 全国研究大会仙台大会」係へご連絡ください。旅行開始後の取消連絡は電話にて承ります。
②お申込後の取消につきましては下記の各取消料を申し受けます。ご入金後のご返金については、変更・取消の際に生じた変更・取消料を差し引いた金額を、大会終了後に銀行振込にてご返金させていただきます。

※大会参加費については、ご入金後のご返金はできかねます。あらかじめご了承ください。

【変更・取消料】（受付日は **JTB東北ECデスク営業時間内**とさせていただきます）(月～金 9:30 ～ 17:30)

・宿泊プラン（募集型企画旅行契約）
旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。

契約解除の日		取消料（お１人様）
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	１.６日目にあたる日以前の解除	無料
	２.５日目にあたる日以降の解除（３～６を除く）	旅行代金の２０％
	３.３日目にあたる日以降の解除（４～６を除く）	旅行代金の３０％
	４.旅行開始日の前日の解除	旅行代金の４０％
	５.当日の解除（６を除く）	旅行代金の５０％
	６.旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の１００％

・オプショナルツアー（募集型企画旅行契約）
旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。

契約解除の日		取消料（お１人様）
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	１.21 日目にあたる日以前の解除（日帰り旅行にあっては 11 日目）	無料
	２.20日目（日帰り旅行にあっては10日目）にあたる日以降の解除（３～６を除く）	旅行代金の２０％
	３.７日目にあたる日以降の解除（４～６を除く）	旅行代金の３０％
	４.旅行開始日の前日の解除	旅行代金の４０％
	５.当日の解除（６を除く）	旅行代金の５０％
	６.旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の１００％

5．個人情報の取扱いについて

当社は今回の大会お申込の際に提出された申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡に利用させていただくほか、お客様がお申込みいただいた運送・宿泊機関等の提供するサービス受領のための手続きに必要な範囲内でのみ利用させていただきます。あわせて大会運営に伴い、情報共有のため大会運営事務局に情報を提出し利用させていただきます。それ以外の目的で利用することはありません。個人情報の管理には当社個人情報保護方針に基づき適切な体制で臨んでおります。お申込書のＥメール到着後の個人情報の管理には充分注意をしておりますが、Ｅメールを送信される際はくれぐれも誤送信等にご注意ください。

ご旅行条件（要約）

お申し込みの際には、必ず旅行条件書（全文）をお受け取りいただき、事前に内容をご確認の上お申し込みください。

●募集型企画旅行契約

この旅行は株式会社 JTB 東北(仙台市青葉区一番町 3-7-23 明治安田生命仙台一番町ビル 3 階　観光庁長官登録旅行業第 1573 号。以下「当社」といいます。)が企画･実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」といいます。）を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途ご確認いただく旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行のお申し込み及び契約成立時期

（1）所定の申込書に所定の事項を記入し、お申し込みください。
（2）旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、申込金を受領したときに成立するものとします。但し、本契約に関しましては、旅行代金のお振込が完了した時点で、旅行契約が成立したものとします。

●旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって 21 日目にあたる日より前（お申し込みが間際の場合は当社が指定する期日までに）にお支払ください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

●取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けます。

〈宿泊プラン〉

契約解除の日		取消料（お１人様）
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	1.６日目にあたる日以前の解除	無料
	2.５日目にあたる日以降の解除（３～６を除く）	旅行代金の２０％
	3.３日目にあたる日以降の解除（４～６を除く）	旅行代金の３０％
	4.旅行開始日の前日の解除	旅行代金の４０％
	5.当日の解除（６を除く）	旅行代金の５０％
	6.旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100％

〈オプショナルツアー〉

契約解除の日		取消料（お１人様）
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって	1.21日目にあたる日以前の解除（日帰り旅行にあっては11日目）	無料
	2.20日目（日帰り旅行にあっては10日目）にあたる日以降の解除（３～６を除く）	旅行代金の２０％
	3.７日目にあたる日以降の解除（４～６を除く）	旅行代金の３０％
	4.旅行開始日の前日の解除	旅行代金の４０％
	5.当日の解除（６を除く）	旅行代金の５０％
	6.旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行代金の100％

●旅行代金に含まれるもの

旅行日程に明示した運送機関の運賃・料金（注釈のないかぎりエコノミークラス）、宿泊費、食事代、コースに示した観光入場料及び消費税等諸税これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。
（コースに含まれない交通費等の諸費用及び個人的費用は含みません。）

●特別補償

当社は、当社又は当社が手配を同行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急遽かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。
・死亡補償金：1,500 万円　　・入院見舞金：2 ～ 20 万円　　・通院見舞金：1 ～ 5 万円
・携行品損害補償金：お客様 1 名につき～15 万円（但し、補償対象品 1 個あたり 10 万円を限度とします。）

●「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件

当社提携クレジットカード会社のカード会員（以下「会員」といいます。）より「会員の署名なくして旅行代金や取消料等の支払いを受ける」こと（以下「通信契約」といいます。）を条件に申込を受けた場合、通常の旅行条件とは以下の点で異なります。（受託旅行業者により当該取扱ができない場合があります。また取扱できるカードの種類も受託旅行業者により異なります。）
（1）契約成立は、当社が電話又は郵便で旅行契約の締結の承諾通知を発信したとき（E-mail 等電子承諾通知を利用する場合は、その通知がお客様に到達したとき）とします。また申込時には「会員番号・カード有効期限」等を通知して頂きます。
（2）「カード利用日」とは旅行代金等の支払い又は払戻し債務を履行すべき日をいいます。旅行代金のカード利用日は「契約成立日」とします。（但し、成立日が旅行開始前日から 14 日目にあたる日より前の場合は「14 日前（休業日にあたる場合は翌営業日）とします。」また取消料のカード利用日は「契約解除依頼日」とします。（但し､契約解除依頼日が旅行代金のカード利用日以降であった場合は、当社は旅行代金から取消料を差し引いた額を解除依頼日の翌日から起算して 7 日間以内をカード利用日として払い戻します）
（3）与信等の理由により会員のお申し出のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けます。ただし、当社が別途指定する期日までに現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

●国内旅行保険への加入について

旅行中において、けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様ご自身で充分な額の国内旅行保険に加入されることをお勧めします。国内旅行保険については、お申込店の販売員にお問い合わせください。

●事故等のお申出について

旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに同行の添乗員・現地係員・運送・宿泊機関等旅行サービス提供機関、又は、お申込店にご通知ください。（もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。）

●個人情報の取扱について

当社及び販売店は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただくほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のために手続に必要な範囲内で利用させていただきます。また、大会運営に伴い主催事務局へ情報を提出し、利用させていただきます。

●旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は 2017 年 5 月 1 日を基準としております。又、旅行代金は 2017 年 5 月 1 日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。

【旅行企画・実施】

㈱ＪＴＢ東北　法人営業仙台支店　〒980-0804　仙台市青葉区大町 1-4-1　明治安田生命仙台ビル 4 階
観光庁長官登録旅行業第 1573 号
一般社団法人日本旅行業協会正会員／旅行業公正取引協議会会員

申込方法について

●お申込方法・スケジュール

お申込

単位PTA
6月9日（金）までにメールにて送付（様式 1）
▶ 郡市区・町村PTA 事務局宛

▶

郡市区・町村PTA事務局
6月16日（金）までにメールにて送付（様式 2）
▶ 都道府県・政令指定都市PTA事務局宛

▶

都道府県・政令指定都市PTA事務局
6月23日（金）までにメールにて送付（様式 3）
▶ JTB東北・仙台大会デスク宛

▶

JTB東北・仙台大会デスク
・参加者数
・参加希望分科会
・宿泊
・オプショナルツアー
申込受付・集約完了

変更・取消

都道府県・政令指定都市 PTA 事務局
※変更・取消は（様式 3）のメール送付にて随時受付（変更・取消料については 18 ページをご確認ください）
JTB東北・仙台大会デスク宛

参加分科会・大会参加証・宿泊 オプショナルツアー・各種請求書

JTB東北・仙台大会デスク
〈発送物〉
・大会参加証（参加分科会決定通知つき）
・宿泊予約確認書
・オプショナルツアー最終日程表
・大会参加費請求書
・旅行代金の請求書
7月25日（火）までに発送
都道府県・政令指定都市 PTA 事務局宛

▶

都道府県・政令指定都市PTA 事務局
・大会参加費
・宿泊代金（JTB へ申し込んだ方）
・オプショナルツアー代金
8月10日（木）までに振込入金
JTB東北・仙台大会デスク宛

参加申込用紙様式のダウンロード、記入方法等の情報は仙台大会ホームページをご覧ください。

分科会・全体会のお問い合せ先

第65回日本PTA全国研究大会 仙台大会実行委員会事務局
〒980-0811 仙台市青葉区一番町2−1−1
E-mail：siptakyo@joy.ocn.ne.jp
TEL 022-227-9545
FAX 022-227-9218

仙台大会ホームページ
http://zenkoku-pta-sendai.wixsite.com/sendai

お申込み先・お問い合わせ先

㈱JTBビジネスネットワーク JTB東北ECデスク
「第65回 日本PTA全国研究大会仙台大会」係 宛
TEL 0120-989-960(ﾌﾘｰﾀﾞｲﾔﾙ) FAX 0120-937-224 E-mail 65pta@jbn.jtb.jp
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル 6 階
営業時間：月～金 9 時 30 分～ 17 時 30 分（土日祝は休業）
観光庁長官登録旅行業 第 64 号 ㈱ジェイティービー代理業 / 東京都知事登録旅行業者代理業第 10718 号
総合旅行業務取扱管理者：石倉 俊義

旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の取扱管理者にお訊ねください。

【旅行企画・実施】㈱JTB東北 法人営業仙台支店
〒980-0804 仙台市青葉区大町 1-4-1 明治安田生命仙台ビル 4 階
観光庁長官登録旅行業第1573号 日本旅行業協会正会員／旅行業公正取引協議会会員